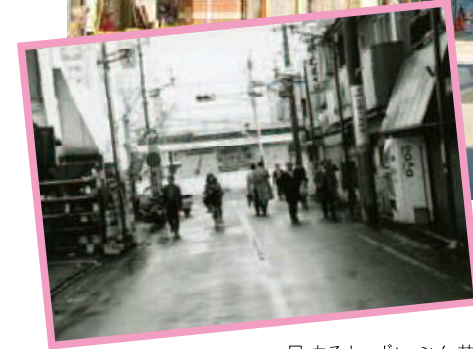


もっと住みやすく、より快適に。 変わっていくまちの姿

さいたま市では、「東日本から首都圏への玄関口」である都市拠点としての役割を発揮しつつ、それぞれの居住スタイルに応じた住環境を形成するため、地域ごとにふさわしいまちづくりを進めています。昔ながらの街並みも意識しながら、新しい取り組みで、もっと魅力的に——。「誰にとっても住みやすいまちづくり」を行っています。

now!

与野駅周辺



before

一見すると、ずいぶん昔の写真のようですが、実は1992年に撮影されたもの。ここ20年あまりで、通りは大きく変わりました。

与野西口駅前通り 与野駅の西口では、土地区画整理事業により駅前交通広場や、駅前通りなどの公共施設の整備を行っています。駅前通りでは、地元商店街と協力して、大正ロマンの雰囲気を出す街路灯の設置を進めるなど、景観にも配慮した整備を行っています。



土地区画整理事業区域



与野西口駅前通りで行われる「大正時代まつり」

大正時代の衣装を着用し、ノスタルジックな雰囲気をも再現する「大正時代まつり」。毎年10月に開催されているこのイベントは、与野駅が大正元年に開設されたことを記念して始まりました。見どころは、何といてもモダンガールやモダンボーイに扮して駅前通りを練り歩く「仮装パレード」。当日は、県内外から多くの観客が集まります。

岩槻駅周辺

now!

岩槻駅周辺では岩槻駅西口土地区画整理事業をはじめとする市街地整備を進めており、駅前にふさわしいまちづくりや、良好な住環境の整備を行っています。



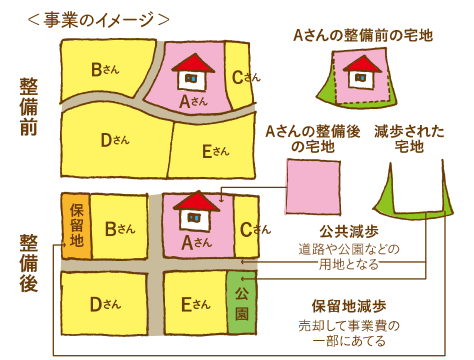
①南平野公園 南平野地区では、宅地や道路の整備にあわせ、地区内の雨水排水を集水する調整池の機能も有する「南平野公園」を整備しました。園内には芝生広場や桜の木々など、緑あふれる憩いの空間が広がっています。



②南辻新曲輪線 東武野田線の線路の下を通過する都市計画道路「南辻新曲輪線(みなみつじしんくるわせん)」。鉄道と道路が立体で交差することで、より安全で円滑な交通環境が整備されました。
③岩槻駅西口駅前通り線 岩槻駅西口地区では、駅西口の開設に合わせ、駅前交通広場や駅前通りの整備等を行っています。
※②③の写真の撮影位置は土地区画整理事業区域外

土地区画整理事業とは

「土地区画整理事業」とは、道路や公園、下水道などの公共施設を整備し、土地の区画を整えることで、**利用価値の高い宅地**をつくる取り組みのこと。
公共施設が十分に整備されていない区域などで、**地権者から少しずつ土地を提供してもらい(減歩)**、それらを集めて道路や公園などの**用地に充てる**ほか、一部を売却して事業の資金に充てる仕組みとなっています。
用地を買収して行う事業とは異なり、**地権者は区画整後も地区内に残ることができる**ため、地域のコミュニティを維持しながら、まちづくりを進めることができます。



まちづくりのコレカラ

このように、さいたま市では、地域の特性に応じたまちづくりを進めてきました。さらに、平成27年8月には「さいたま市防災都市づくり計画」を策定し、首都直下地震をはじめとする自然災害に備えた、より安全で住みやすい都市を目指しています。また、この計画では、市内の防災性を高めることとあわせ、拠点となるエリアの都市機能を向上させることなどによって、理想的な将来都市構造の実現を図る「社会資本整備の基本戦略」を示しています。

基本戦略をふまえ、今後は、現在実施されているまちづくりとあわせ、高齢化を見据えた「健康まちづくり」や、「東日本の玄関口としての都市機能」と「首都圏のバックアップ拠点としての防災機能」を強化するためのまちづくりなどを検討していきます。